



## コロナ生活相談&フードバンク

# “社会的支援の仕組みを”

### 前橋の5団体

前橋市の前橋公園で

27日、「新型コロナ生

活相談&フードバン

ク」が取り組まれまし

た。反貧困ネットワー

クぐんま、北関東医療

相談会AMIGOS

(アミーゴ)が主催。

群馬弁護士会、群馬司

法書士会が後援し、群

馬民医連、群馬ひまわ

りの会など5団体が参

加しました。

弁護士らによる無料

生活相談には14人が来

場。東京から来たと話

すホームレスの男性は、市役所に相談したところ東京に帰って生活保護を受けるよう言

われました。反貧困ネ

ットぐんまの仲道宗弘

代表は「前橋市に生活

保護を申請し、住居も

確保しましょう」と対

応しました。

フードバンクは、開

始前に約70人が行列を

作り、182人が利用

しました。

小学3年生の子を連

れたシングルマザー

(40)は「体を壊して

働けない。障害年金と

児童手当、親族の援助が頼り」と話しまし

た。

生活保護を受けて県

営住宅に暮らす女性

(75)は「本当に助か

る。生活費を借りたら

収入だと言われ、保護

費を返させられた。生

活できない」と訴えま

した。

民医連奨学生の医学

生3人がボランティア

参加。「生活を立て

直すための社会的な支

援の仕組みが必要だと

感じた」と話しまし

た。